

会 議 録

会 議 名	第 2 2 期小金井市公民館企画実行委員の会議 第 2 1 回		
事 務 局	公民館貫井南分館		
開 催 日 時	平成 2 6 年 4 月 1 日 (火) 午後 2 時～ 5 時		
開 催 場 所	学習室 C		
出 席 委 員	大嶋郁子委員、柿原朋子委員、小宮山とみ子委員、本多証明委員、前川正治委員、森廣美委員		
欠 席 委 員	なし		
事 務 局 員	松本浩明主査、千賀義幸、永嶋汐美		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	なし
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 公民館職員人事異動について 2 公民館運営審議会の報告 (3月28日開催) 3 成人学校、市民講座、音楽鑑賞のつどい未決定内容分について 4 各講座の報告と計画 [報告] 成人学校「バードウォッチング入門」、成人学校「江戸野菜に親しもう」、音楽鑑賞のつどい「スプリングコンサート」 [計画]、高齢者学級「けやき学級」、成人学校「江戸野菜に親しもう」、第 3 1 回貫井南センターまつり 5 その他 成人学校「アコースティックギター弾き語り入門」 <p>次回の日程 平成 2 6 年 5 月 7 日 (火) 午前 9 時 3 0 分～ 学習室 C</p>		

審議経過（主な発言要旨等）

1 職員人事異動について（平成26年4月1日発令）

- 本館 前島 賢（館長・学務課長から）
若藤良弘（主査・緑分館主査から）
長堀雅春（再任用・副主査・東分館主査から）
- 本町分館 小川絵梨花（非常勤職員・退職）
加藤るみ子（非常勤職員・復職）
- 東分館 倉澤淳子（副主査・生涯学習課文化財係主任から）
- 緑分館 和田穂積（副主査・本館主任から）
野津幸代（非常勤職員・退職）
山本ひろみ（非常勤職員・本館から）

2 公民館運営審議会の報告（開催日3月28日）

(1) 報告事項

ア 貫井北センターについて

4月1日（火）午前10時から11時30分まで開設式典。4月14日まで公民館内覧期間となる予定。前回会議での仕様書の内容指摘部分について、職員は社会教育主事、公民館勤務経験者配置に「努めること」を「とする」とする限定した表現に改めた。3月26日に市民検討委員会のメンバーで内覧会を行った中で、事務室内（ロウカウンター）の職員配置は要検討とする。公民館貫井北分館の休館日は他館同様。4月15日が休館日にあるため、16日から6月末日までの貸し出し予約を貫井北分館窓口で受け付ける予定。

イ 三者合同会議の議題について

5月16日（金）にNPO法人と三者（公民館運営審議会、社会教育委員の会議、図書館協議会）で懇談会を行う予定。11月14日（金）の三者合同会議では、仮題「若者を知ろう」と題して講演会実施を予定。フリートーキング等も検討する。

ウ 「2014 青少年のための科学の祭典」について

8月31日（日）に開催予定。5月9日までが参加申込期限、内容の提出は6月20日までとなる。今回も三者（公民館運営審議会、社会教員委員の会議、図書館連絡会議）で参加することを確認している。

エ 公民館事業の報告について

貫井南分館からは、成人学校「バードウォッチング入門」・「江戸野菜に親しもう」、音楽鑑賞のつどい「スプリングコンサート」を提出。スプリングコンサートについて、各地域から広い年齢層の方が大勢参加されてとても良かったとのこと意見をいただいた。

オ その他

委員部会（定例会）の第10回・11回にもあるように、平成26年度の関東甲信越静岡公民館研究大会は埼玉県熊谷市及び行田市で行われる予定、平成2

7年度については、関東甲信越静公民館研究大会は東京都が担当となるが、会場は小平市の「ルネこだいら」を予定。これにより、東京都公民館研究大会は平成26年度は行わず、平成27年度に関東甲信越静公民館研究大会に併せて実施する予定。公民館運営審議会の日程（基本：第4木曜日）は各委員へ後日、連絡する。2月23日に実施した委員部会研修会は法改正による今後の教育委員会のあり方がどうなるのかが焦点となった。今後は首長が教育行政に政治的関与が行われることとなる。

(2) 審議事項

ア 三者合同会議小委員会について 前述のとおり

イ 公民館の計画 貫井南分館からは、高齢者学級「けやき学級」、成人学校「江戸野菜に親しもう」、第31回貫井南センターまつり「リコーダーコンサート」を提出。質疑なし。

ウ その他 公民館事業評価の提示は今後の予定。

次回の日程 4月24日（木）午前10時～ 第二庁舎802会議室

3 成人学校、市民講座、音楽鑑賞のつどい未決定内容分について

未定分4回の成人学校は、1回分を昨年度好評であった「そば打ち体験」を行う予定。自分で打ったそばを食べる時間が、参加者に時間差が生じてしまった課題については、店の物を食べることで自分で打ったそばは土産用とする等、工夫と検討を行う。未定分3階については、やはり昨年度好評であった自然関係講座「バードウォッチング入門」の継続として「樹木ウォッチング入門」を行う予定。また、案として提案された「イタリア」に関する講座と市内芸術家による「水墨画講座」については、次年度以降の候補として、講座としてどういう構成となりうるのか調査を行う。市民講座については、昨年度実施の「日本の伝統芸能」の継続として、「能や狂言」の講座構成を調査する。また、琉球踊りや沖縄三味線の案も考慮し検討をする。音楽鑑賞のつどいについては、案として邦楽「琵琶」を予定、今後、資料を調達したうえで市内在住の外国人（イギリス）の方が演奏していることも勘案し、演奏規模等の検討を行うこととする。

4 各講座の報告と計画

【報告】

○成人学校「バードウォッチング入門」

この講座は、自然の豊富な小金井にふれてもらうことを目的としたが、正に実践できた講座となった。2月22日（土）は座学、翌週3月1日（土）は雨天のため8日（土）に順延しての野外観察となった。野外観察は晴天に恵まれ絶好の観察日和となり、参加された方は春を感じながら興味深く観察を行い、自然に対する興味を更に深く持ち、知識が増えたことで日常の楽しみが増えたアンケートからうかがえ、充実したものとなった。

○成人学校「江戸野菜に親しもう」

3月10日（月）に平成25年度の閉講式を公民館貫井南分館学習室ABで行っ

た。24人の参加者でスタートしたが、4月に1人退会者が出て23人でのゴールとなった。年度全体の出席率は86.6%であった。今年度は2月に大雪に見舞われ1か月作業ができない状態が続いたことが残念であった。また、講師においてもご家庭の事情により欠席する事態も補助講師と講座前任者の協力があり何とか乗り切れた。また、企画実行委員の協力で測量、杭打ち、堆肥枠も作成することができた。来年度は講師が変わる予定。

○音楽鑑賞のつどい「スプリングコンサート」

3月16日（日）午後1時会場、1時30分から開演された。定員50人に対して84人の応募があり、当日67人の来場者となり、「エバリー」の人気のうかがえるコンサートとなった。演奏者が楽器を演奏しながら会場を廻ったり、来場者の子どもも演奏に参加するなど工夫されたもとなり、和やかな雰囲気にも包まれたコンサートとなった。JCOMの取材もあり、レポートの放映もされた。ただ、開演時間が市報とチラシで差異があったため、多少待たせた来場者もいたことが反省点として残った。アンケートの質問内容がコンサートとは合わない内容となっていることについて、今後は多少、コンサートに合わせた形も検討する必要があると思われた。

【計 画】

○高齢者学級「けやき学級」

既に26年度のプログラムは決定をしている。文学については講師からテーマの再検討を提起されていたことについては、講師からも提案のあった「夏目漱石の「坊ちゃん」とする予定。

○成人学校「江戸野菜に親しもう」

4月7日（月）午前10時から東京学芸大学環境実践施設において開講式を行う予定。今年度は24人の定員に対して31人の応募があり、抽選を行い受講生は決定している。男性9人、女性15人となった。平均年齢は62歳。37歳から76歳の構成となっている。班編成は4班体制とする。講師は昨年度と変わり渡辺正志さん、補助講師に村岡千恵子さんとなる。昨年度までの顧問、木俣美樹男さん（元東京学芸大学教授）から、小柳知代さん（東京学芸大学講師）、妻木誠二さん（元公民館貫井南分館企画実行委員）、鴨下義昭さん（元講師）の体制となる。開講式当日、2人の企画実行委員が東京学芸大学正門での会場案内を行う予定。

○第31回貫井南センターまつり

前準備の5月9日（金）、当日10日（土）、11日（日）のタイムスケジュールは若干の修正を加える。先生を含めて、お茶席の打合せを3月26日（水）午後4時に行い、全体の構成、公民館、先生、お手伝いしてくださる保護者の方の用意する物、会場設営方法、費用等の確認を行った。

5 その他

○成人学校「アコースティックギター弾き語り入門」

チラシの文言の修正箇所の確認を行った。

次回の日程 5月7日（水）午前9時30分～ 学習室C